

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
西川町浄化槽整備区域	西川町	平成 2 6 年度～平成 3 0 年度	平成 2 6 年度～平成 3 0 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%	
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績 /目標	
総人口	6,081人	5,286人	5,187人		
公共下水道	汚水衛生処理人口	2,407人	2,697人	2,317人	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	39.6%	51.0%	44.7%	44.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1,625人	1,623人	1,489人	0.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.7%	30.7%	28.7%	50.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	1,729人	712人	1,116人	60.3%

目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道について、目標達成のため未接続世帯に対し、町報やダイレクトメール等で普及・啓発に取り組んできたが、接続が想定よりも進まなかった。要因として未接続者に対する周知不足が考えられる。

合併処理浄化槽については、浄化槽整備区域は主に高齢化率の高い中山間地であるため、居住者の高齢化と後継者がいないことから浄化槽設置に対する設備投資に消極的であり、また、浄化槽本体設置への補助制度を設定しているものの、高齢者のみの世帯では工事費の負担が大きいため転換を躊躇するケースが多く、整備基数が目標より少なくなったことが考えられる。

3 目標達成に向けた方策

今後、ホームページや町報を活用した広報のほか、未接続世帯への戸別訪問により住民への周知を徹底し、下水道への接続を促進していく。合併処理浄化槽についても、個人負担軽減のため浄化槽補助制度と併用できる他の補助制度も合わせて広報し、転換を促進していく。また、未処理世帯の家族構成等を分析し、高齢化社会を考慮した現実的な計画を再考し、未処理人口の減少を目指していく。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽の整備については、国の交付金があるものの整備に係る個人負担が大きく、人口減少や高齢化が進む中で個人において直ちに整備に着手してもらうことは困難な状況である。未整備世帯、特に高齢者はホームページを見る機会が少ないことから、個別訪問するなど、直接一人ひとりに対して環境保全の取り組みの必要性を働きかける必要があると考える。

また、その際、合併処理浄化槽を実際に設置するイメージができるよう具体的な負担のシミュレーションを示しながら、生活環境の向上など高齢者の整備意欲を高める働きかけを実施するとともに、補助事業の一層の周知・活用を図り、汚水処理人口普及率の向上に努めていきたい。